



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.47

2018年3月号

ネット通信 花 便 り



「一人一花」運動用のベストを着用、福岡市役所玄関花壇の管理をしています。

目 次

楽しかった人？はーい！	P2～P3
園芸福祉の庭	P4
福岡市役所玄関花壇の管理について	P5
「ひがしフェスタ」に行ってきました。	P6
恵子児童館クラブの活動	P7
HAPPY を呼ぶ！ プリザーブドフラワー・アレンジ	P8
地域における園芸福祉	P9
新部会を立ち上げます。	P10
総会のご案内	P10
「癒しのこけ玉体験教室」のご案内	P10
ジャケットを貸与から個人所有に変更しました！	P11
春の訪れ	P11
事務局からのお知らせ	P12

楽しかった人? はい!

谷口 博隆

福祉園芸体験事業は、花あふれるふくおか推進協議会の事業（国産花卉イノベーション事業：農林水産省）です。私たちは県内の生産者が育てた花苗を活用してハンギングバスケット作品を完成させるメニューに平成27年度から取り組み、この体験に参加された方々に「楽しかった人?」と聞くと「はい!」と、手を挙げられた皆さんの笑顔に励まされ3年間継続して実施しています。

平成29年度は、県内5か所の高齢者福祉施設で、利用者の孤立感の解消や心身機能の維持、生活機能向上、グループ活動等に対応できるメニューとして実施しました。



見本作品



特別支援学校の展示状況

また、特別支援学校3校では、生徒の経験を広

めて積極的な態度を養い、社会性

や豊かな人間性を育む、生徒に基礎的な知識・技術の習得、感動する心を育むなどの一助として、ハンギングバスケット作品づくりを行いました。制作する工程を生徒の障がいの種類や程度を先生方と協議し、成功体験に結び付くように、楽しかった一

と心から感じてもらえるように配慮しながら取り組みました。これは園芸福祉の理論にも合致しており、大変やりがいのある社会貢献事業であると自負しております。これには園芸福祉士でハンギングバスケットマスターの黒瀬恵子さんを指導講師に、園芸福祉士の栗木トシ子さん、山崎博子さん、初級園芸福祉士の井上妙子さん、金澤美恵子さん、田中節子さん、濱崎真人さん、二俣はるみさん、米倉治美さん達が講師として参加しました。

高齢者福祉施設での作品づくりは、バスケットにあらかじめ8ポットのビオラを植付けておいて、仕

上げに4ポットを植付け、用土を入れ、ミズゴケで用土を覆って完成です。

これは茎が細いビオラを使っているのので、折れると「失敗したー!」と挫折感を味あわないで、きれいに完成して達成した喜びを楽しめるようにと作業工程に配慮しました。作品が完成した嬉しさを唄と手拍子で表現してくれた参加者もあり、体験された方々は皆さん笑顔でした。

特別支援学校では、障がいの程度によって高齢者と同じ方法での作品づくりとスポンジを貼ったバスケットにビオラを12ポット植付けて完成させる難易度の高い違う2つのタイプを実施しました。



高齢者福祉施設での体験状況



高等聴覚特別支援学校では手話通訳を介しての作品づくりを行いました。体験した生徒の提案で一緒に給食をいただきました。数十年ぶりの給食はとてもおいしかったです。食事中に生徒が教えてくれる手話で会話を楽しみながらの正に手習い！お互いに福祉的体験を実感することが出来ました。また別の特別支援学校では、生徒は車いす利用でそれぞれに先生が介助についてあり、体験の初めはとても緊張して強張っていた生徒が作品づくりが進むにつれ、次第に緊張も解れて時折笑顔が見られるようになると先生方は作品と生徒の笑顔写真を沢山撮ってありました。作品が完成すると楽しかったのだろう、得意気に、嬉しそうに微笑んだ瞳は輝いて美しく、その姿に感激して涙腺が緩んでしまい、「楽しかったねー、あ・り・が・と・う」と言うのが精一杯でした。



特別支援学校での体験状況

皆さんが完成されたハンギングバスケット作品は、それぞれの施設のフェンスなどに展示されて5月中旬までの半年余り、施設利用者や職員、地域の皆様とのコミュニケーションアイテムとして、また施設や地域の景観向上の一翼も担って、美しく咲いています。



高齢者福祉施設の展示状況

クリスマスやお正月、学校訪問や保護者会、卒業式や入学式など各施設でのイベントでも多くの方々にご覧いただき福祉園芸効果を発揮しています。

この事業の追跡調査アンケートでも福祉園芸の効果が数値として如実に表れており、次年度も福祉園芸体験事業を園芸福祉士としてプライドを持って推進したいと考えています。

(注：文部科学省の学習指導要領を参考資料としています)。

お疲れ様でした！

福祉園芸体験に参加する講師たちは、午前中からハンギングバスケットの体験ができるよう準備を行ない、午後から始まる体験、そして後片付けまで一日がかりです。これは片付けが終わり、各自アンケートに記入しているところ。講師の皆さま、一日中お疲れさまでした。



園芸福祉の庭

黒瀬 恵子



①車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇
(レイズドベッド)



②子どもたちと一緒に楽しむ花壇



ストレスを解消する花壇

ていたネモフィラを見つけ、花壇の縁取りにと移植していました。翌日は雨、ネモフィラも根付き、より楽しい花壇になってくれることでしょう。

2月の定例作業日が雨だったため、3月4日(日)に作業を行ないました。

この日は春の陽気、レイズドベッド(立ち上がり花壇)の花を眺めている車椅子利用者の方にも出会えました。

私達が園路沿いの花壇を手入れしていた時、「あれは草を取っているんだよ」「草を取ると花がきれいに咲くんだよ」という声に振り返って見ると、若いお父さんが小さな女の子と手をつないで散歩をしていました。その微笑ましい光景ときれいに咲いている花が、私たちの心まで暖かくしてくれました。

今回は2つのテーマ花壇をご紹介します。

①車いす利用の人たちと一緒に楽しむ花壇
(レイズドベッド)

主な植栽植物：パンジー、斑入りスーパーアリッサム、ビオラ、大輪バコパ。

園芸福祉の庭を訪れると、2基のレイズドベッド(立ち上がり花壇)が目に入って来ます。庭の中心のベッドで咲いている黄色のパンジーがひと際目を引きまします。レイズドベッドは、植栽部が浅く、土は20cmにも満たないくらいしか入りません。そのため、わずかな深さでも植物の根が張るよう、用土に配慮がされています。植物を育てる土がどんなに大切かと言うことをきれいに咲き誇った花たちが教えてくれているようです。

②子どもたちと一緒に楽しむ花壇

主な植栽植物：ビオラ、スイートアリッサム、冬知らず、八重咲きストック、カルーナ、ジギタリス、キンギョソウ、セントーレア。

アイランドシティ中央公園のメイン園路沿いにある花壇です。昨年11月の植栽に携わった会員が、「子どもたちも楽しめるように」と、会員達も楽しみながらデザインをしていました。

こびとや動物などの可愛いオブジェも設置されています。花壇のあちこちに生え



高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇

福岡市役所玄関花壇の管理について

黒瀬 恵子



前回発行の花便り (No. 46) でご紹介した福岡市役所玄関花壇の管理は、谷口代表が一般社団法人福岡市造園建設業協会より依頼を受け、基本協定を締結し、正式に園芸福祉ふくおかネットが年間を通して管理することに決まりました。花壇管理のスタッフは定例会やメールで募集し、代表を含む 11 名の会員が年間を通して行うことになりました。

今年から、福岡市では市民や企業一人ひとりが花と緑を育て、彩りや潤いにあふれ、おもてなしと豊かな心が育まれるまち「フラワーシティ福岡」を創る取り組みとして、「一人一花」運動が始まりました。福岡市役所の玄関前にある花壇を管理する私達スタッフは、「一人一花」運動を普及させながら、～花と緑があふれ、豊かな心が育まれるまちへ～を合言葉に私たちの福岡市が花いっぱいの美しいまちになるよう活動していきたいと思っています。



3月6日、「一人一花」のロゴ入りベストを初めて着用し、谷口さん、井上さん、黒瀬の3人で作業に入りました。作業は

9時から11時までの2時間。「一人一花」のロゴ入りベストが早速人目を惹き、「facebook にあげても良いですか」と出勤途中の男性から声をかけられました。通行人からは「花は良いですよー」「あると無いとじゃ大違い」と気軽に話しかけられ、思わず「花は良いですよー」と答え、お互いが笑顔になっていました。3月に入り寒も緩み、花壇の作業がより楽しいものになって来ました。



『ひがしフェスタ』に行ってきました。

米倉 治美

園芸福祉ふくおかネットの副代表辻 和弘先生が教壇に立たれています「福岡市立 東福岡特別支援学校」(東区青葉)で1月26日(金)10:30~12:00「ひがしフェスタ」が開催され、山崎 博子さんと米倉 治美が出かけました。

会場の体育館前には「新鮮野菜販売会」の整理券をもらおうと大勢の人たちが並んでいて、人気の凄さを感じました。



同フェスタは高等部の作業発表会で、体育館に入ると7つの作業班が一致団結して作った沢山の製品が所狭しと並べられていました。



木工班のベンチ・イスは大盛況!

窯業班(お皿・茶わん・箸置き他)、手織り班(ポーチ・バック・小物他)、木工班(ベンチ・イス・ミニガーデンスタンド他)、工芸班(紙すき製品・和紙かご・ランプシェード他)、パソコン班(カレンダー・メモ帳・ポストカード他)、農耕班(大根・サツマイモ・薬物野菜)。生徒たちの一生懸命さが伝わってくる製品は「完売!」が出るほどの大人気! 私目移りして、選ぶのが大変でした。

サービス班のコーヒー・紅茶・ジュース・クッキーセットなどカフェもありました。販売・カフェどちらの生徒たちも接客が丁寧で元気よく、とても素晴らしい授業発表会でした。



購入したお気に入りの作品(ベンチ含む)。

